

令和6年度

若年技能者人材育成支援等事業 実施状況

令和6年12月13日

千葉県技能振興コーナー

(千葉県職業能力開発協会)

目 次

I 本事業の目的、内容、及び実施期間

1	目的	1
2	内容	1
3	実施期間	1

II 令和6年度における事業の推進計画

1	地域における技能振興事業	1
2	ものづくりマイスターの認定、登録	2
3	ものづくりマイスターの活用	2
4	地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営	3
5	目標	4

III 令和6年度における事業の実施状況等

1	地域における技能振興事業の実施状況	5
2	ものづくりマイスターの認定状況	5
3	ものづくりマイスターによる実技指導等の実施状況	6
4	地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営状況	6

IV 次年度に向けた改善事項等

1	次年度に向けた改善事項等	7
---	--------------	---

I 本事業の目的、内容、及び実施期間

1 目的

若者のものづくり離れ、技能離れが見られる中、若者が進んで技能者を目指す環境の整備や産業の基礎となる高度な技能を有する技能者の育成等が課題となっており、このため、「若年技能者人材育成支援等事業」を推進することにより、若年技能者の人材育成、技能尊重気運の醸成等を図る。

2 内容

技能競技大会の課題等を活用し、ものづくりマイスターの派遣による実技指導を中心に、若年技能者、学生生徒の人材育成を行うことで、技能分野への誘導を図るとともに、熟練技能者等の活用とも併せて各事業を展開し、技能尊重気運の醸成を図る。

事業実施に当たっては、県や地域関係者と連携・協力し効果的な展開を図ることとするが、従前との変更点に留意しつつ、中央技能振興センターとの緊密な連携のもとに、推進する。

主な変更点としては、1. 中小企業・業界団体へのマイスター派遣実技指導は、昨年度及び本年度に派遣実績がある場合でも実施可能であり、大企業が希望する場合は、費用全ての負担が必要となること、2. 工業高等学校等において、生徒と同時に教師に指導することが可能になったこと、3. 中小企業・業界団体、工業高等学校等の派遣指導は、指導対象者が技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会に参加する場合は、40回までを上限に拡充されたこと、等である。

3 実施期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

II 令和6年度における事業の推進計画

1 地域における技能振興事業

(1) 技能五輪全国大会の予選の実施等

① 技能五輪全国大会の予選の実施

中央職業能力開発協会準備課題により予選を実施する職種及び各都道府県職業能力開発協会が独自の選考基準にて推薦する職種のうち、理容職種、西洋料理職種、造園職種等7職種について、予選会の実施を図る。

参加人員：約21名想定

② 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施

選手及び指導員の旅費、並びに工具等の運搬費の援助を行うことにより、中小企業等の大会参加を促進する。

支援等予想人員：技能五輪全国大会 **選手15名 指導員10名想定**
：若年者ものづくり競技大会 **選手5名 指導員5名想定**

(2) 卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援

社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、青少年が技能労働職に入職することを促進するため、中央技能振興センターが作成する令和6年度（授賞後）の卓越した技能者の表彰の被表彰者の技能を紹介するためのコンテンツの作成支援を行う。

具体的には、被表彰者のプロフィールや仕事に対する思い、これから入職する若者に伝えたいこと、作業風景などを取材し、中央技能振興センターに提出する。

対象者：被表彰者決定後に実施

(3) 「地域発！いいもの」応援事業及びグッドスキルマーク事業の休止に伴う対応

「地域発！いいもの」応援事業及びグッドスキルマーク事業は、令和6年度新規認定は行わない。両事業のいずれかの認定を受けた事業者から認定内容の変更・廃止等の相談を受けた際は、中央技能振興センターに問い合わせるよう伝える。

2 ものづくりマイスターの認定、登録

(1) ものづくりマイスターの開拓

職種別認定状況、並びに、実技指導等の派遣ニーズを踏まえた上で、ものづくりマイスター候補者の開拓（掘り起こし）を行い、認定・登録を進める。

様々な派遣ニーズに対応できるよう認定職種数の拡大を図ると共に、派遣ニーズが高い、機械加工、電子機器組立て、菓子製造、婦人子供服、とび、鉄筋施工等の職種について十分なマイスターの手当てがなされるよう、重点的に開拓を進める。

認定者数：7名 [目標]

(2) ものづくりマイスターへの説明

実技指導をより適切かつ確実に実施するためには、技能だけでなく、「指導力」や「本事業に対する理解」を確保することも重要であり、認定されたマイスターに対し、制度の趣旨や実技指導の重要性を説明するとともに、指導技法等講習の必要性を周知し、活動する際の条件等について説明を行う。

(3) 申請書類等の取りまとめ

ものづくりマイスターへの申請に係る相談・援助の拠点として、コーナーに窓口を設置し、認定申請書類の取りまとめや受理等の業務を行う。

(4) ものづくりマイスターに対する研修

マイスターの指導技法の習得・向上のため、訓練施設指導員等が講師となり、認定されたものづくりマイスターを対象に講習を行う。

なお、過去3年間活動実績のないマイスターについては、活動意思の有無を確認するとともに、意思のあるマイスターには最新版のテキスト等により情報提供する。また、中央技能振興センターの主催の「事例発表・意見交換会」への参加を勧奨する。

実施：2回 [予定]

3 ものづくりマイスターの活用

(1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等

① コーナーにおける相談・援助

コーナーの相談窓口において、人材育成に係る実技指導等の相談・援助、ものづ

くりマイスター派遣のコーディネート等を行う。また、実技指導に必要な設備について自社は確保できない等も想定され、コーナーが公共職業訓練施設等からの施設・設備の借用等についてコーディネートを行うなど、各企業の事情に応じたきめ細かい対応を心がける。

②相談援助、指導ニーズの把握

県内の製造業及び建設業関係の中小企業、業界団体、教育訓練機関の指導ニーズを把握するため、過去に実施したアンケート調査結果等を活用するなどし、適切にニーズを把握しながら効果的なマッチングに努める。

(2) ものづくりマイスターの派遣による指導の実施

実技指導は、最適なものづくりマイスターを選定し、技能競技大会の競技課題又は技能検定試験問題を基にし、中小企業、教育訓練機関からの訓練指導のニーズに応じた実技指導を行う。

マイスター活動数	[目標]
： 中小企業	200人日
業界団体	200人日
工業高校等教育訓練機関	1,800人日
公共施設又は民間施設を派遣先とする指導	100人日
計	2,300人日

(3) 若者に対する「ものづくりの魅力」発信

地域若者サポートステーション事業の支援対象者に対するものづくり体験等を実施する。

マイスター活動数	[目標]
：	20人日

(4) 小中学校等の児童・生徒に対する「ものづくりの魅力」発信

児童・生徒等にもものづくり産業の魅力を発信し技能分野への誘導を図る観点から、地域の教育機関関係者からの要請に基づき、学校の授業等にもものづくりマイスターを派遣し「ものづくりの魅力」を発信する内容の講座・実演・体験教室を開催する。

マイスター活動数	[目標]
：	380人日

(5) 熟練技能者等による派遣指導

ものづくりマイスターの対象分野に該当しない職種の派遣要望が寄せられた場合には、内容を精査検討したうえで、製作実演、ものづくり体験教室等、ものづくりマイスターと同様の派遣指導を実施する。

従前にもフラワー装飾、園芸装飾等についての要望が寄せられた。

4 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

(1) 連携会議の設置

本事業を効果的に実施するため、千葉労働局、千葉県、千葉県教育委員会、経済団体、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、等の関係者による連携会議を設置・開催し、本県の産業特性、就業構造等を踏まえた、本事業の推進計画の策定、進捗状況の管理などを行う。

(2) 連携会議の開催回数

年間2回以上（当該年度の推進計画の策定、事業の進捗管理など）

5. 目 標

(1) 成果目標

- ①ものづくりマイスターの実技指導を利用した企業・業界団体又は教育訓練機関の満足度 90%以上
- ②ものづくりマイスターの実技指導の内容を理解し、今後に生かせるとした受講生の割合 90%以上
- ③ものづくりマイスターを活用した企業又は業界団体が技能検定又は技能競技大会を人材育成に活用する契機となった割合 90%以上

(2) 活動目標

- ①ものづくりマイスターの認定者数 7人以上
- ②ものづくりマイスターの活動数 2,700人日以上

Ⅲ 令和6年度における事業の実施状況等

1 地域における技能振興事業の実施状況

(1) 技能五輪全国大会の予選の実施等

①技能五輪全国大会の予選の実施

- ・「西洋料理職種」予選 令和6年5月14日実施

参加者数 1名

(第62回大会へ1名派遣)

- ・「造園職種」予選 令和6年5月18日実施

参加者数 4名

(第62回大会へ1名派遣)

②技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施

- ・第62回技能五輪全国大会への参加選手、指導員の旅費、並びに同大会参加に係る工具運搬費について支援。

(参考) 本県からの参加選手：10名

技能五輪全国大会参加支援

選手数 10名 指導者数 10名

- ・第19回若年者ものづくり競技大会への参加選手、指導員の旅費、並びに同大会参加に係る工具運搬費について支援。

(参考) 本県からの参加選手：6名

若年者ものづくり競技大会参加支援

選手数 6名 指導者数 6名

(2) 卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援事業

社会一般に技能尊重の気風を浸透させ青少年が技能労働者の道に入職することを促進するため、中央技能振興センターが作成する令和6年度の卓越した技能者を紹介するためのコンテンツの作成支援として、プロフィールや仕事に対する思い、入職する若者に伝えたいことなどを取材し、中央技能振興センターに提出。

対象者数：3名（令和6年度認定） 1月取材し提出。

(3) 「地域発！いいもの」応援事業及びグッドスキルマーク事業の休止に伴う対応

「地域発！いいもの」応援事業及びグッドスキルマーク事業のいずれかの認定を受けた事業者から認定内容の変更・廃止等の相談を受けた際に、中央技能振興センターに問い合わせるよう伝える。

11月末日現在 相談、問合せ等なし。

2 ものづくりマイスターの認定状況

(1) ものづくりマイスター認定者数は、実人数11人。

認定職種は9職種、職種別に見ると、とび(2人)、機械保全(2人)、型枠施工(1人)、仕上げ(1人)、左官(1人)、配管(2人)、機械加工(1人)、造園(2人)、内装仕上げ施工(1人)、となっている。

(2) ものづくりマイスター（IT部門）認定者は、なし。

(3) ものづくりマイスター（+DX）認定者は、なし。

表1 ものづくりマイスター認定状況

認定職種	人数	認定職種	人数
とび	2	配管	2
機械保全	2	機械加工	1
型枠施工	1	造園	2
仕上げ	1	内装仕上げ施工	1
左官	1		

(4)

も

のづくりマイスターに対する指導技法等講習の実施

ものづくりマイスターの指導技法の習得・向上のため、指導員が講師となり認定されたマイスターを対象に指導技法等講習を実施。

- ① 9月12日(木) 6名受講 ② 9月14日(土) 1名受講

3 ものづくりマイスターによる実技指導等の実施状況

(1) 実技指導の実施は、派遣ニーズの把握、ものづくりマイスターとのマッチング等の調整後に実施。

表2 ものづくりマイスターによる指導

(R7.11末現在)

指導対象	件数	のべ受講者数
企業及び業界団体	36件	516人日
高校以上の学校	71件	1,202人日
実技指導(公共施設等派遣)	2件	222人日
ものづくり魅力発信(小中学校)	24件	839人日
ものづくり魅力発信(サポステ)	1件	15人日
計	134件	2,794人日

(2) 熟練技能者等による派遣指導

ものづくりマイスターの対象分野に該当しない職種の派遣要望が寄せられ、熟練技能者等による、ものづくりマイスターと同様の派遣指導を実施。

学校の授業等への熟練技能者の講師派遣

件数2件 参加者数 延べ154人

4 地方公共団体、経済団体等との連携会議

開催回数 2回

(1) 構成メンバー

労働局、県職業能力開発担当課、商工会議所、中小企業団体中央会、商工会、教育委員会、県技能士会、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

(2) 開催日及び議題

- 第1回 開催日 令和6年6月11日
 議題 令和6年度事業推進計画について
- 第2回 開催日 令和6年12月13日
 議題 令和6年度事業実施状況について

5 全国斉一的な事業展開

- (1) 中央技能振興センター主催全国会議への対応
「若年技能者人材育成支援等事業」全国会議
開催日 令和6年4月24日
開催方法 ZOOMによるリモート開催
参加者数 5名
- (2) 中央技能振興センター主催地域技能振興コーナー職員会議への対応
都道府県地域技能振興コーナー職員会議
開催日 令和6年10月4日
開催方法 参集（東京都新宿区）
参加者数 2名
- (3) 中央技能振興センター主催ものづくりマイスター職種別事例発表・意見交換会への参加
職種 鉄筋施工
開催日 令和6年10月29日
開催方法 ZOOMによるリモート開催
参加者数 1名

IV 次年度に向けた改善事項等

1. 次年度に向けた改善事項等

ものづくりマイスターとの連絡を密にしつつ、派遣ニーズに対するよりキメ細かな配慮を心掛け、対応してゆく。

また、教育訓練機関や事業所等の情勢も注視し、幅広いニーズの開拓を進めて行くこととしたい。